

GINGA RENPO

銀河連邦ホームページ
<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/ginga/index.html>
 銀河連邦各共和国へのお問い合わせは下記の番号まで
 ノシロ共和国 ☎0185(52)2111
 サンリクオオフナト共和国 ☎0192(27)3111
 サガミハラ共和国 ☎042(754)1111
 サク共和国 ☎0267(62)2111
 ウチノウラキモツキ共和国 ☎0994(65)2511
 タイキ共和国 ☎01558(3)2111

～銀河連邦友好交流25周年～

銀河連邦は昭和62年11月8日に、宇宙への夢とロマンを育むため、JAXAの宇宙科学研究施設のある6つの市町で連邦国家を組織して以来、今年で友好交流25周年を迎えました。
 銀河連邦では、これからも子どもたちが夢や希望を持てるような取り組みを行っていきます。



6月13日 ★ 銀河連邦友好交流25周年記念 ★ 「はやぶさの日」を制定

小惑星探査機「はやぶさ」が7年60億キロもの長旅の末に地球に帰還し、数々の科学的偉業を成し遂げたことを称え、開発、運用に関わった人々の「あきらめない心」「努力する心」を全国の方々に伝え続けて行こうと、銀河連邦では「はやぶさ」が帰還した6月13日を「はやぶさの日」と制定しました。

町民から寄付をいただいた毛布などの資材や食べ物(米、缶詰、水、粉ミルク)の提供や義援金を通じて、早期復興の支援に取り組んでいます。また、平成24年7月には、地元酪農家からの申し出により、大船渡市の酪農家へ牧草ロール約12トンが届けられました。



タイキ共和国
北海道大樹町

発災2日後には市職員7名を派遣し、併せて生活物資を大型トラック2台で輸送するなど、一早く支援活動に取り組むとともに、現在でも市職員を派遣しているなど、継続的な支援活動を行っています。また、義援金も「頑張れ大船渡 銀河連邦応援金」として大船渡市への募集を独自に行い、現在も継続して募集しています。昨年は「復興応援プレミアム付さがみはら商品券」を販売し、商品券販売価格の一部を原資に、大船渡市の小中学校や保育園などにファンヒーター、ストーブ等暖房器具を贈呈しました。



ノシロ共和国
秋田県能代市

銀河連邦の絆は無限

サガミハラ共和国
神奈川県相模原市

東日本大震災からの復興に取り組むサンリクオオフナト共和国(大船渡市)へ、これからも支援を続けて、銀河連邦の絆をさらに深めてまいります。

サンリクオオフナト共和国
岩手県大船渡市



サンリクオオフナト共和国は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、未曾有の大被害を受けました。しかし、震災直後より銀河連邦の各共和国より、連日、大型トラックによって大量の救援物資が運び込まれ、また、各国首長様をはじめとする多くの皆様に駆けつけていただきました。皆様からの温かいご支援のおかげで、当共和国は少しずつではありますが、復興に向けて着実に歩み始めております。この紙面をお借りいたしまして、心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



サク共和国
長野県佐久市

発災直後の3月19日夕方、急遽翌日の便で大船渡にカセットコンロを送ることになり佐久市民に呼びかけたところ、一晩で800台余が集まり、支援の思いを深く感じました。翌月4月29日には市長が物資や義援金を直接お届けし、復興を遂げるその日までともに歩むことを約束、現在も継続して職員を派遣しています。佐久市内での復興イベントでは大船渡の物産に長蛇の列ができ、また震災を機に初めて大船渡に足を運んだ市民も多く、絆はさらに深まっています。

ウチノウラキモツキ共和国
鹿児島県肝付町



いち早く復興の支援をするため、震災3日後に肝付町から大船渡市に向けて、職員と給水車の派遣を行いました。その後、鹿児島県大隅半島の近隣4市4町の職員も加わり、4市5町にて8月末まで復興支援活動等に携わりました。町内での義援金活動や地元中学生による支援米の田植え・稲刈り、地元のイベントへ中学生や高齢者の方々を招待した友好交流活動など、銀河連邦の枠組みを超え、たくさんの支援の輪が広がりました。

銀河連邦広がる交流の輪

ノシロ共和国 秋田県能代市



平成21年度の子ども留学交流は、ノシロ共和国を訪問しました。58名の子ども大使が、能代ロケット実験場の見学や風の松原ウォークラリー、能代役七タとまち灯りの見学をしました。実験場ではロケットエンジンの燃焼試験で焼け焦げたコンクリート壁を触ったり、真空実験施設の内部に入ることでもできました。子ども大使は、体験交流を通じて友情の輪を広げると共に、ノシロは宇宙開発の縁の下の力持ちということを実感したようです。

子ども留学交流

サガミハラ共和国 神奈川県相模原市



本年度の子ども留学交流は銀河連邦友好交流25周年記念として、総勢65名の子ども達がサガミハラ共和国に集まり3泊4日で交流をしました。天体観測や博物館見学を行ったほか、水ロケットイベントでは、自分で水ロケットを作り、より良く飛ばすために角度などを自分で考えて飛ばしていました。レジャー施設プレジャーフォレストでは、アスレチック等で汗を流し、バーベキューを食べたり、キャンドルを作ったりして楽しみました。

サク共和国 長野県佐久市



平成24年1月3日、長野県小海町の松原湖スケートセンターにおいて「第23回銀河連邦星の町スピードスケート親善大会」を、第45回佐久市民スケート大会と同時開催しました。サガミハラ共和国から12名の小中学生が参加し、寒い時期ではありますが、参加者全員元気に滑走し親睦が図られました。

スポーツ交流

ウチノウラキモツキ共和国 鹿児島県肝付町



銀河連邦の設立を記念して始まったうちのうら銀河マラソン大会も、今年で26回目を迎えました。今年は、6月27日の豪雨災害による土砂崩れにより、10kmコース上の国道が災害を受けた影響で、大会開催以降初めてのコース変更が発生しました。銀河連邦から出場した選手達は、参加したコースの上位に入賞し、表彰を受けました。

タイキ共和国 北海道大樹町



山あり、海ありのタイキ共和国では、本年度も大樹町産和牛や秋鮭鍋など秋の味覚を満喫できるイベントとして9月に「柏林公園まつり」を開催しました。この祭りでは、各共和国のPRと経済交流の促進のため、「銀河連邦物産展」ブースを開設し、タイキ共和国民をはじめ、来場者の方々に各共和国の特産品などを販売しました。普段、各共和国の美味しい特産品や北海道では売っていないものが並んでいるため、大盛況のうちに終了しました。

経済交流

サンリクオオフナト共和国 岩手県大船渡市



昨年、東日本大震災の影響で開催が見送られた「第26回三陸大船渡さんま祭り」が、10月21日、秋晴れの中、大船渡市民文化会館を会場に、盛大に開催されました。市内外から約12,000人が来場し、無料提供の炭火焼さんまをはじめ、次々に登場するアーティストの歌や演奏、銀河連邦共和国特産品の販売など、盛りだくさんの内容で来場者をお迎えしました。また、当日はノシロ共和国から、市民ツアーとして約160人の皆さんが、バス4台に分乗してかけつけました。

銀河連邦友好交流25年の歩み

- 昭和62年11月 ユーモアとパロディの精神により2市3町（ノシロ共和国、サンリク共和国、サガミハラ共和国、ウスダ共和国、ウチノウラ共和国）で銀河連邦を設立
- 昭和63年7～8月 子ども交流を実施（ノシロ共和国） ※平成3年から「子ども留学交流」
- 平成3年8月 子ども留学交流を実施（ウスダ共和国） ※現在も継続
- 平成8年2月 「銀河連邦を構成する市町の災害時における相互応援に関する協定」を締結。
- 3月 ミスペースシャトル「エンデバー」に銀河連邦旗が搭載され、NASA搭載証明付パネルとともに贈られた
- 4月 ミスペースシャトル「エンデバー」に搭載した若田光一氏ら搭乗員9人が宇宙科学研究所を訪問



銀河連邦建国式

- 平成12年8月 「文部省宇宙科学研究所の研究施設の存続及び整備拡充による宇宙科学研究の継続を求める要望書」を文部大臣等に提出
- 平成13年11月 大船渡市・三陸町合併（サンリクオオフナト共和国に国名変更）
- 平成15年10月 宇宙航空研究開発機構（JAXA）設立
- 平成17年4月 佐久市・白田町・浅科村・望月町合併（サク共和国に国名変更）
- 7月 内之浦町・高山町合併、肝付町誕生（ウチノウラキモツキ共和国に国名変更）
- 平成18年3月 相模原市・津久井町・相模湖町合併、能代市・二ツ井町合併



銀河連邦旗NASA搭載証明書

- 平成19年3月 相模原市・城山町・藤野町合併
- 平成22年4月 タイキ共和国（北海道大樹町）が銀河連邦に加盟
野口聡一宇宙飛行士とのリアルタイム交信イベントの開催
相模原市が全国で19番目の政令指定都市に
- 6月 小惑星探査機「はやぶさ」が7年60億キロの長旅の末に地球に帰還
- 平成24年6月 銀河連邦で「はやぶさの日」を制定
- 8月 銀河連邦友好交流25周年記念 子ども留学交流事業の開催